



後藤 久男

◆市長の3選不出馬記者会見について

問「次の市長選には3選不出馬を決めた」とする報道と東濃ニュースの報道について。

答出馬の可能性がゼロではないこと、事態が変われば出ると思うかもしれない。その時には、また記者会見を開き、理由を説明する。

◆総合病院の健全経営化と存続について

問指定管理者をJ.A.岐阜厚生連ありきで進めているのではないか。総合病院の指定管理者を公募するなら徳洲会グループと医療法人「成信会」は参加したいと言っている。また「成信会」は現状のまま購入し、産婦人科の開設も予定されている。J.A.岐阜厚生連を指定管理者にする案の対案にならないか。

答対案か対案でないかと問われれば対案ではない。後藤さんに話されているのは分かるが信憑性がない。そんな話があるなら、管理者である私に一番最初に言ってもらわなければならない。

問総合病院の指定管理者をJ.A.岐阜厚生連にする条例案が可決されると、総合病院の医師や看護師が何人か退職されると聞いている。そんな状況になっても、東濃厚生病院との連携強化や機能分担はできるのか。

答辞められるドクターもいれば、残っていただけのドクターもいる。このままいけばドクターがゼロになるのは目に見えている。そうなる前に手を打ちたい。

問25人の常勤医のうち、7人がやめると聞いているが18人でやれるのか。

答指定管理にし、経営を統合する中で縮小は致し方がない。私は経営を統合し、将来の一病院化に向けていくのがベターだと思う。その間の苦しい時期はある。

◆新庁舎建設について

問新庁舎建設の落札率99.9%と通常では考えられない落札率について。

答第1回目は予定価格超過であったため、第2回目の入札では落札となり、その際の予定価格に対する落札率が99.9%であった。今回のように、入札価格に近付く可能性はある。不調に終わる場合もある。

《第5回定例会一般質問》



小関 篤司

◆土岐市立総合病院について

問土岐市が瑞浪市に約400床の1つの病院に統合することについて、市の見通しはどのようですか。

答推進委員会でも承認頂いています。一病院化の手法はパブコメ含め、推進委員会で引き続き議論し結論をつけます。現状その手法、場所、管理者、形態含めて決まっております。

問(市反問) 小関議員の質問を聞く、一病院化の明確なステージがなければ、現在の総合病院のあり方について結論を出すべきではないと聞こえるが、どのような考えか。

答(小関) 指定管理をやるということは、土岐市の病院職員はいなくなり、後戻りは出来ません。厚生連と一病院化が上手くいかなかった場合は、指定管理も先行きが分からない状況になると危惧しています。場所も何も分からないでは、決めていくのは難しいと考えています。

問今新庁舎をつくって、イオンの道路もつくって、こども園もつくっています。実際一病院化について

現実味があるのかなのか、お金案件面で見通しが立っていますか。

答(市長) 一病院化の展望は未定ですが想定は出来ます。一番の課題は東濃厚生病院は手狭で400床は無理です。土岐市立総合病院は築30年経っており、10〜20年で建て替え時期です。医局の要請などで厚生連とは一病院化に向けた基本的な合意はとれています。手法については厚生連の事情、土岐市の事情、瑞浪市の事情があり、具体的に提示しながら進めていく問題です。現段階で土岐市が勝手に言えない状況です。

問市長は構想を持っていますか。

答(市長) 理想的には案を持っていますが、関係者が合意できる形で進めるのがベターだと思います。

問市民説明会を行う考えはないか。

答(市長) 方針が決まっていないので、今のところ予定はありません。

◆小中学校のエアコン設置について

問多治見市は当初2021年度末の工事完了の計画を2019年9月末に前倒しました。多治見市長さんと話しをさせてもらった時も自信を持っていました。土岐市の今後の見通し、意気込みはどうですか。

答遅くとも概略の積算をして3月補正に出したいと考えている。小学校を優先的に出来るだけ早い時期につけていきたいという方針です。



和田 悦子

◆土岐市総合病院のパブリックコメントの実施について

問 実施して課題はありますか。

答 今後、周知方法、資料をわかりやすくする。閲覧場所、意見の提出場所を多様化するなど検討したい。

問 362件の意見の中で何件くらい事業に反映されるか？

答 土岐市病院事業改革プラン推進委員会での協議や議会での議論を踏まえ、勘案し、事業に役立てていきたい。

問 医局から派遣がないのはなぜか。

答 医局のほうも医師不足だ。二つの病院が統合されることにより、医師の派遣がしやすくなるという大学教授の意見がある。

問 パブリックコメントに対する市の回答について、土岐市総合病院は継続しますと書いておられる。誤解を生むことにならないか。誰が見ても永続的に総合病院は存続すると思込むのではないか？

答 現時点で一病院化の経営形態は全く決まっていない。未定なので齟齬

はないと考えている。

問 市民の質問と市の回答がかみ合っていないことについて。

答 パブリックコメントはもとより一つ一つのご意見に対して回答するものではない。市の基本的な方針に対する市民の意見を見直す必要がある。踏まえて方針を見直す必要がある。踏まえて方針を見直す必要がある。踏まえて方針を見直す必要がある。

●自治体病院は市民の財産であることを再認識し、もう少し時間をかけて再検討していただけたらと願っています。

問 子どもの下校時の見守りボランティア団体はどれくらいあるのか？

答 地域の実情に応じて各学校が把握し、申し出いただいたり、お願いをしている。団体の正確な数までは把握していない。

問 このボランティアをどのように位置づけられているか？

答 子どもの安全・安心を守るために欠かせない存在で感謝している。自ら貢献する活動として学校、家庭及び地域相互の連携協力のもとで主体的に行われていくものと位置づけをしている。H32年度から全小・中学校でコミュニティスクール化を実施する予定。先駆けて取り組んでいる妻木小の取り組みを生かしながら充実した活動に結びつけたい。

《第5回定例会一般質問》



渡邊 隆

◆総合病院経営再編へ市推進委員会と市長の具体的方向と市民の声

問 市民への市回答で病院は存続する。とある。経営のあり方では時代の流れで民間で行うのがベターだ、厚生連にお任せして、市は経営監督管理し、診療は民間にと説明ですが、その認識で間違っていないですか。

答 副市長 議員さんの説明で経過を踏まえた考え方は同じ認識です。

問 再編の中では盛んに医療資源の集約と言っていますが、そのことについてどれくらい議論されたのですか。市長含めた幹部の会議ではもう決めたようなことを言われたのですがどうですか。

答 検討委員会、推進委員会の議論の前提は市民へどうやって医療提供体制を整えるかです。将来的に人口減少の事態、医師確保の難しさ、この現状を踏まえての協議での一定の方向ということで理解していただきました。

問 他の自治体では、以前は府立大学や国立大学、自治大学が医師確保に

協力してくれていたが、協力の度合いが落ちてきたため、他の民間病院のネットワークを頼り、医師をなんとか確保しているとのこと。土岐市ではそういった医療法人などはどれくらい検討の対象にしているのか。

答 検討の内容は、近隣病院との統合、医療機能の再編等の選択肢の妥当性、統合までの間の総合病院経営手法についてどんな方法がいいか厚生連の名を出して検討したということです。

問 今医師確保へあらゆる機会、カードをやるべきだと思っています。市長、病院、議会、市民が一体になって新しい行動へ斬新な方策に取り組みます。今後が見通せないのではありませんか。コンサルの導入の効果は。最後に公募について、基本的に公募ですべきと考え、市長見解では厚生連しかないという回答ですが近隣の豊田市地区の医療法人の話も出ています。情報はグローバルに経営は口一カルでよい。市長の考えが最善であっても情報の開示をしつかりないといけないのでは。議会報告会での市民の声の中に情報の開示という話もありました。

答 情報開示はしています。近隣病院との統合、一院化、条件、位置等について意見を伺うことは大切です。存続の中身、形態、改善が喫緊の課題です。